



地球

2011年秋号

男女が共に生きる情報紙 VOL.90

ひとつ「働き方」を変えてみよう!

カエル! ジャパン

Change! JPN

内閣府ワーク・ライフ・バランスシンボルマーク



一人ひとりが
できることは...?



市の鳥ゆるキャラ
「カワセムくん」

仕事の場が変われば社会が変わる! 共にワーク・ライフ・バランスの実現を

も
く
じ

- ふじさわワーク・ライフ・バランス推進会議が開催されました
- 探検! ふじさわ 藤沢市市民活動推進センターの巻
- ふじさわの元気 ~アンテナを高くすると見えてくるものがあります!~
- 新しい大和ナデシコ
- ブレイク・タイム
- 編集後記
- インフォメーション

ふじさわワーク・ライフ・バランス推進会議が開催されました

1 開催の背景

「ワーク・ライフ・バランス」(仕事と生活の調和)については、以前から国を中心に取り組みが進められてきましたが、2011年2月に行われた、内閣府の意識調査によると、「言葉も内容も知っている」と答えた人は20.8%にとどまり、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」と答えた人(34.4%)を加えても55.2%と約半数にとどまっています。

藤沢市においても、労働団体、経済団体、企業、NPO、大学、市民、行政等がそれぞれの立場で取り組みを行っていますが、経済情勢や生活環境がワーク・ライフ・バランスに与える影響はとて大きく、各団体が連携・協働して取り組むことが一層求められています。

市制施行70周年の2010年10月には、「私たちの藤沢健康都市宣言」が制定され、市民・地域・行政が協働し、生きがいや夢の持てるまちづくりの実現を誓いました。また、2011年3月に策定された「ふじさわ男女共同参画プラン2020」においても、「男女の仕事と生活の調和」が重点目標として位置づけられています。

ワーク・ライフ・バランスが実現できれば、働く人々が家庭や地域により積極的に参加できるようになり、豊かな生活のための時間が確保できるのではないのでしょうか。

2 どんな会議なの?

お互いの課題を共有し、共に“生きがいや夢の持てるまちづくり”を進めていくという趣旨に賛同いただいた各団体が集うことで、行政が設置する従来の委員会や審議会とは異なる**趣旨賛同・連携協働型プロジェクト**＝「ふじさわワーク・ライフ・バランス推進会議」ができました。

3 内容は?

労働団体、経済団体、企業、NPO、大学、市民、行政等は、それぞれの課題に対しては引き続き各々が主体的に取り組み、連携・協働が必要な課題については、連携の仕方・方法を検討し、取り組んでいきます。

『それぞれの課題』

労働団体

- ①雇用創出と労働条件の確立・向上
総労働時間の短縮、不払い残業の撲滅、諸休暇の取得促進、子育て支援策の充実
- ②男女共同参画社会基本法の趣旨を踏まえ、男女共同社会の実現に取り組む。

企業・経済団体

- ①会員企業のワーク・ライフ・バランスの推進
- ②ワーク・ライフ・バランス推進優良企業への顕彰制度の創設

行政

- ①新総合計画、次世代育成支援行動計画、ふじさわ男女共同参画プラン2020の推進
- ②男性職員の育児時間休暇取得の向上、年次有給休暇の消化の向上、庁内託児所の設置

大学・NPO

- ①キャリア教育、キャリアデザイン研修
- ②自律的なライフデザインの実現へ向けた取組

『連携協働が必要な課題』

ワーク・ライフ・バランスの実現等に向けたPR・啓発

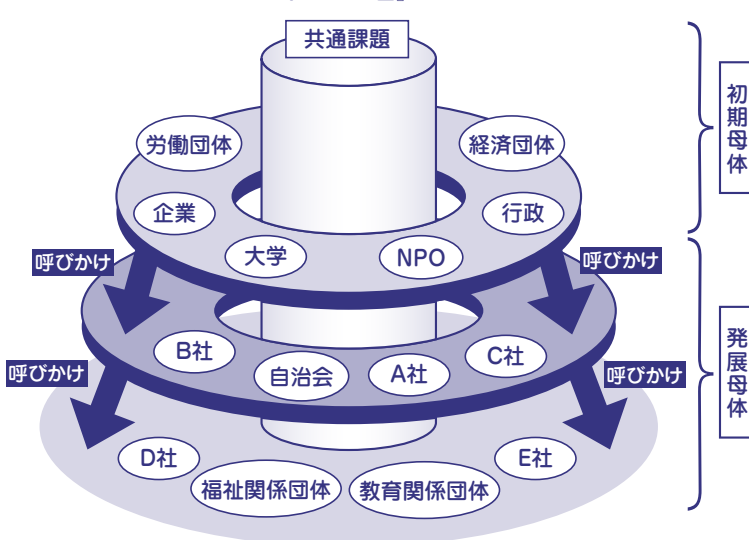
4 今後は?

構成委員はいわゆる発起人として、継続的な活動を推進する核になっていただくとともに、新たに趣旨に賛同する団体の拡大に努めていただきます。

ふじさわワーク・ライフ・バランス推進会議の構成委員

(1) 労働団体	5名
(2) 企業・経済団体	4名
(3) 市民代表(子育て支援)	1名
(4) NPO関係者	1名
(5) 学識者(男女共同参画)	1名
(6) 行政	4名

『イメージ図』



探検! ふじさわ

藤沢市市民活動推進センターの巻



平成13年(2001年)、市民活動の自立化を支援するために、藤沢市市民活動推進センターが開設されました。

市民活動というと漠然として分かりにくいかもしれませんが、NPO(非営利組織)など、市民がよりよい(地域)社会づくりのための活動を行っている、または行おうとしている団体や個人が、ミーティング、作業や情報収集などを行うために、このセンターを利用することができます(ただし登録が必要)。

市民活動の推進を応援するセンターとは、どんなところなのか。最近初めて存在を知った私は、実際にセンターを訪ねてみました。

藤沢駅北口をJR線路沿いに辻堂方向へ8分ほど歩いていくと、藤沢市市民活動推進センターに到着です(ビルの2階)。

センターに入ると、まず目にするのが、カフェテリアのような雰囲気の交流・多目的スペース。(写真①)ここは予約なしで自由に使えるスペースで、気軽にミーティングができます。訪問した日も、グループで外国人の先生と英会話の講習をしていました。テーブル・椅子も移動が自由なので、2、3人から10人近くの打ち合わせも気軽に行えそうです。さらに20~30人程度が利用できる会議室も2つあります(有料、予約制)。

人のために何かをしたい人たちのための場所です。



写真①

また、印刷機やコピー機などが設置された作業スペースもあり(写真②)、資料作りなどに大変便利です。情報スペースとして、無料で利用できるパソコンや市民活動の実務書など4,000冊が置いてあります。



写真②

使い方の説明などは貼ってありません。声をかけなければ何もできないようにしてあります。コミュニケーションが大切。

市民活動というと、私の知識のなさから、殺伐とした重々しい雰囲気の中で話し合いが行われるというイメージが先行していましたが、実際は、明るいフロアで自由な雰囲気のなかにも、各スペースどれも整理整頓がきちんとされていました。

センターのスタッフにうかがうと、「スタッフはあくまでも活動を見守る立場で、利用者(グループ)がお互いに快適に利用できるように努めています」とのこと。

推進センターができたことで、他団体と交流ができるようになったそうです。たとえば、講習会を開こうと思ったA団体が、講習会の間に参加者の子どもの託児サポートをここで知ったB団体をお願いするなど、このセンターでさらに活動が発展していくこともあるようです。

最後に興味深かったのは、たくさんのチラシやポスターが掲示されているコーナーです(写真③)。市民活動に関するリーフレットを自由に持ち帰る情報ラックもあり、手にとると各団体が工夫して作られていると感じました。毎年秋には、登録団体のチラシの中から、優れたものに「チラシ大賞」として表彰されて、活力のひとつにもなっているようです。(写真④)



写真③



写真④

藤沢市市民活動推進センターのリーフレットには、「チョットだけ心が動いたときに。チョットだけ元気が欲しいときに。チョットだけ翔び立つ勇気が出たときに。」と書いてありました。ちょっと心が動いたときに、そんなフレーズが合う施設でした。

(佐野 記)

■藤沢市市民活動推進センター

〒251-0052 藤沢市藤沢1031 小島ビル2階
電話番号:0466-54-4510 FAX:0466-54-4516
E-mail:f-npoc@shonanfujisawa.com
URL:http://npocafe.f-npon.jp/
休館日:毎週火曜日(祝日の場合は、その翌日) 年末年始
開館時間:9:00~22:00
駐輪場:あり
駐車場:なし
(ただし、推進センター利用の場合は、朝日町駐車場が2時間まで利用可)



っこどあ!



ふじさわの元気

アンテナを高くすると見えてくるものがあります!



藤沢市 市民活動推進センター
センター長 手塚明美さん

Q ここでの仕事と出会った頃のお話を聞かせてください。

A 私がこの活動に携わることになったのは、NPOの法律ができた事がきっかけです。それがなぜ私のアンテナにひっかかったかという、当時、私は、国体(1998年かながわ・ゆめ国体)を応援する藤沢市市民運動推進連絡会でたくさんの仲間と活動をしていたのですが、市民活動という言葉が世の中に流れて、市民活動って何?という事で勉強し始めました。ちょうど私が青少年関係の活動をやっている頃と重なり何となくストンと勉強が身に落ちてきました。もしかしたら市民活動という言葉がこれからの未来を創っていくんじゃないかと。なんとなくひとつの光みたいに私には思えました。市民活動という言葉が輝いて見えた。それが私の原点にあると思います。

Q 今、NPOを立ち上げているところが増えてきていますが、NPOを立ち上げるまで、ご苦労だったことはありますか。

A NPOは自分たちの思いを形にするひとつの方法なんです。



本当にNPO法人としてやるのがいいのかなということ、チーム全員で合意形成するというのがとても大変です。チーム全員で物事を進めるということですから、だれかのリーダーシップだけではだめなんです。NPOは理事が3人以上必ず必要ですが、全員同じレベルで代表権が持てるという条件でやらなければいけないし、その合意形成と、なおかつ応援する人が10人以上いないといけないんです。総意で立ち上げなきゃいけないので難しさといえそこかと思えます。

Q 手塚さんご自身の事を聞かせてください。お休みはちゃんと取れていますか。

A 私はここの仕事だけでなく、藤沢市市民活動推進連絡会の事業も今4本持っています。長後に施設が一つありますし、最近新しい事業も始まりました。でも私はどこかに行つたついでに「あ、ここのお洋服いいな」って買ったついでにもするし、美味しいパフェとかも食べちゃいます。

たった15分で何ができるか、30分あればカフェでケーキもたべられるって自分の好きなものが摂取できる状況を自分でつくれば、それほど辛くないです。

Q じゃあ、ストレスはあまりないですか。

A ないです ないです。こうやって言いたい放題言ってますから。割と溜めないし裏表とか策略とかが下手なんです。もともと私は建築屋です。家を建てるってどうい

事かって言うと、土地の特性によって家の形とか大きさとかが変わります。だから条件に合わせて物事を作るってのがちょっと訓練されています。同じ事を今ここでやっていると思うんです。何かをしようとした時に必ず、ここで何が出来るのかなってのをすごく考えます。みんなが幸せで笑顔になって欲しいし、そうじゃなかったらやっている意味がないし。

家族にも幸せでいて欲しいから、ここで仕事のときは、夕飯の時間には夕飯作りに家に帰らせてもらってます。職住がかなり接近しているので、わがままをさせていただいています。条件に合わせて自分の生活をコントロールしていくってことでしょうか。

私、30代のほとんどを主人の両親の介護をしてたんですよ。介護が始まった時に全部仕事辞めて、私は一生この状況から出られないのでは...と思いました。でも今思うと、すごく良い経験をしました。介護はやっぱり逃げちゃいけないよ。だいが鍛えられました。だからそんじょそこの事じゃ驚きません。何とかならない事なんて世の中ないんです。世の中でおこっているんですから。いろんな事を経験した方がいいなって思っています。

Q これから活動を始めようという市民のみなさんへ、メッセージがありましたらお願いします。

A 何かを始めようとするのであれば、アンテナは高く。興味があると目につきますから。たとえば、私も今眼鏡をしているから周りで眼鏡をかけた人がすごく目につきます。という事は、そこにアンテナが立っているわけですよ。自分でバッグ欲しいとか洗濯機が調子悪いとか思った時に、必ず人が持っている物とか広告に掲載されている、数多い電化製品の中から、洗濯機が目に飛び込んでくる。そういうことです。だからアンテナを高くっていうのは自分が何かしたいと思ったら、したいしたいしたいと思いつけることによって目に付くし、飛び込んでくる。それから幸せ感っていうのかな、自分の喜びと人の喜びを区別しない。自分の幸せと他の人や周りのものの幸せを同じ物差しで測り、一緒に喜ぶことをお勧めします。

感想

藤沢市市民活動推進センターにうかがった日は利用する団体が多く、打ち合わせやパソコン、印刷機を使う人々で混雑していました。その部屋の一角で手塚さんにお目にかかり、NPOの事からご自身のことまで熱く語って頂きました。沢山の経験と努力が今の手塚さんを輝かせているのでしょう。その細身の身体から溢れるパワーで、様々な事を乗り越えてこられたのだらうと思いました。

(遠藤・多根・岸田 記)

新しい大和ナデシコ

初夏、「なでしこジャパン」がサッカー女子ワールドカップで優勝したニュースが日本中を沸かせた。このニュースは、大震災後元気がなくなっていた日本を瞬時に元気づけた。

ふと気になって女子サッカーの歴史を調べてみたら、女性解放の歴史に重なっていることに気がついた。女子サッカーの歴史は意外に古く、イングランドで男子サッカーが生まれて30年後に同じくイングランドで始まった。第一次世界大戦中、男子サッカーが中断されたために大変もてはやされた時期もあったらしいが、第一次世界大戦が終わると当時サッカーが、「男子の中の男子のスポーツ」と言われていたため、女子サッカーは次第に迫害されていき、練習場所さえ奪われてしまった時期もあったそうだ。1960年代後半に再びウーマン・リブの波が起こると、女子サッカーにも復活の兆しが見えてきた。しかし、当時のプレーヤーたちはまだ、昔ながらの「女らしさ」を放棄した者たちという偏見と闘わなければならなかった。

1970年代、アメリカンフットボールが「男のスポーツ」とされていたアメリカでも、女性たちがサッカーを楽しみ始めたそうだ。日本の女子サッカーは、その世界的な流れを受けて1970年代になって本格的に活動を開始した。

「なでしこジャパン」の選手の待遇について、こんなに活躍をしているのに昼間は働いて夜間の練習をするなど、男子サッカー選手に対して待遇が違いすぎるという報道をこのフィーバーの中でいくつも見た。世論の後押しもあって、支給されるスポーツの助成金の額も男子競技に比べて女子競技の額が少なく、今年やっと改正されたと報道されていた。今まで助成金額が違ったことに驚きを感じたのは私だけではなかったのではないだろうか。

そういえば、なでしこの花を最近見かけなくなった。子供のころ土手にたくさん咲いていたなでしこ…雑草の間でつつましく、でも凛と咲いていた可憐な花、花言葉は「純愛」「大胆」「勇敢」。大和撫子という言葉も死語となりつつある今、今回の女子サッカーの活躍によって冷静に果敢にそしてあきらめないという新しい大和ナデシコのイメージが定着したのではないだろうか。



(川辺 記)

ブレイク・タイム



男女共同参画に関係ありそうな文字遊びを載せてみました。
● 何て読むのか…柔らかかアタマで挑戦してみてください。

1

家庭²

それぞれですね。

2

蟻 10匹

大事ですね。この気持ち…

3

相棒 湿布

協力しあって…

4

幸福 終止

結末は…

5

イ イ イ 男
イ イ イ
イ イ イ

流行の…

6

娘

娘だけ…?

答えは中面の『探検! ふじさわ』ページの下にあります。

- 撫子は秋の七草の中でもっとも可憐で優美な花。サッカーの「なでしこジャパン」応援しています。(遠藤)
- 気がつけば秋、うつろいゆく季節と共に少しずつ何かが変わっていく。人生にもギアチェンジが必要かも…(川辺)
- 最近、身近では出産ラッシュ。みんな可愛いナデシコたちです(*^_^*)(岸田)
- 子育て中の私は、毎日バタバタと過ぎてしまっていますが、いつか「チョット心が動いたとき」に自分ができる「ちょっと」を始めてみたいです。(佐野)
- “ふじさわの元気”の手塚さんの言葉「自分の喜びと人の喜びを区別しない」人になれるよう努めます。(多根)

インフォメーション

◆ 勤労市民課からのお知らせ

■ 問合せ先・申込み先

藤沢しごと相談システム運営センター(労働会館内)
TEL.23-8222 FAX.23-8277
(月～金曜日・祝日除く 9:00～17:00)

■ 申込み

随時受付(定員になり次第締め切り)。電話または来所で。
上記「藤沢しごと相談システム運営センター」へ。

就職支援個別カウンセリング 藤沢市労働会館

- 内 容: 就職に向けた相談に個別アドバイスします。その後、無料でお仕事を紹介します。
 - 日 時: 毎週火曜日、木曜日 9:30～16:00 (祝日は除く)
 - 対 象: 市内在住または在勤の就職・転職を希望する方(1人1時間以内)
- ※この他にも就職のご相談に応じます。
(火～金曜の祝日を除く9:00～17:00)
まずはお問い合わせのうえ、お気軽にご来館ください。

湘南合同就職面接会大活用術セミナー

藤沢市労働会館

- 内 容: 湘南合同就職面接会が10月26日(水)に開催されます。面接会当日、より効果的に面接が受けられるようにスキルを向上させるセミナーです。
- 日 時: 10月18日(火) 1回目 9:30～12:30
2回目 13:30～16:30
(ご都合に合わせてご参加ください)
- 対 象: 藤沢市、鎌倉市、茅ヶ崎市、寒川町内に在住または在勤の就職・転職を希望する方(各回先着30名)

かがやけ地球は、市民の編集員さんの
企画・運営によって年4回発行しています。

編集スタッフ

遠藤 倫子・川辺 裕子・岸田 弥生・佐野 美穂子・多根 純子

◆ 共生社会推進課からのお知らせ

2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町) 広域連携事業 共に生きるフォーラムふじさわ2011

■ 講演テーマ・内容

「地域に根ざして くらしも仕事もバランスよく
～ワーク・ライフ・バランス
1人3役(家庭人、地域人、職業人)のススメ～」

「ワーク・ライフ・バランスって何?」
「どうしてそれが大事なの?」「どうせ無理だよ…」それぞれの疑問や悩みを解決して、豊かな人生を送るためのヒントをわかりやすくお話していただきます。



■ 講 師: 渥美 由喜氏(内閣府 男女共同参画会議 専門委員)

■ と き: 11月12日(土) 13:00～15:00(開場12:30)

■ ところ: 藤沢市労働会館ホール(藤沢市本町1-12-17)

■ 定 員: 150名(申し込み順・無料)
※手話通訳・要約筆記・保育(2歳以上の未就学児)あり

■ 申し込み・問い合わせ:

10月17日(月)午前8時30分から藤沢市ホームページ電子申請予約、電話、ファクスまたはEメールに住所・氏名・電話番号・保育希望の有無(希望する場合は10月31日(月)までにお子さんの名前(ふりがな)・年齢・性別)を書いて共生社会推進課。
内線:2133、FAX:(24)5928(共生社会推進課 宛)、
Eメール:kyousei@city.fujisawa.kanagawa.jpへ。
※駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

ワーキングマザー両立応援カウンセリング

仕事と子育ての両立に不安や悩みを抱えるママ・プレママに経験豊かな女性カウンセラーがお応えします。

■ 日 時: 10/26、11/30、12/21(いずれも水曜日)
16:00～19:00(各日3人)
*6歳以下の保育あり(1週間前までに予約)

■ 会 場: 藤沢産業センター(湘南NDビル内)

■ 申込み: 神奈川県労政福祉課 TEL045(210)5746

■ 問合せ: 神奈川県労政福祉課 TEL045(210)5746
共生社会推進課 TEL0466(25)1111 内線2133
FAX0466(24)5928



東京ガス キッチンランドは、
見る、触れる、味わう。
「食」のトータル情報館。
地域のネットワークをいかした
料理教室や「食」を中心に、
新しいライフスタイルをご提供します。

Kitchen Land

Shonan

東京ガス キッチンランド湘南

キッチンランド湘南
〒251-0032 藤沢市片瀬92 ☎ 0466-28-3758

藤沢・茅ヶ崎・寒川 “湘南”がエリアのFM放送局



<http://www.radioshonan.co.jp>

STUDIO FAX No.0466-29-2121

Shonan Shirayuri Gakuen

湘南白百合学園

— おかげさまで75周年 —

■ 湘南白百合学園中学高等学校
— 豊かな人間性と 世界に開かれた心をもった
21世紀を担う女性を育てます。 —

■ 湘南白百合学園小学校
— 正しいこと、よいことは進んでひきうけ、
最後まで責任をもって果たします。
思いやりの心を持って、おたがいの進歩としあわせをねがい、
よろこんで助け合います。 —

■ 湘南白百合学園幼稚園
— 自分で遊び 自分で開わり 自分を創ります —

〒251-0034 神奈川県藤沢市片瀬白山4-1
TEL.0466-27-6211(代) HP. <http://www.shonan-shirayuri.ac.jp>

産業版・地産地消の推進で! 会員事業所の繁栄に繋げよう
～会員のため・地域産業活性化のため～

○意見要望活動 ○共済制度等の普及推進
○各種経営相談 ○各種検定試験の実施

藤 沢 商 工 会 議 所

(藤沢本所) 〒251-0052 藤沢市藤沢109番地 湘南NDビル7階
TEL:0466-27-8888 FAX:0466-27-8664
(湘南台支所) 〒252-0804 藤沢市湘南台1-10-6 カルチャー湘南台ビル4階
TEL:0466-44-9261～2 FAX:0466-44-9353